



本日は全国的に
好天に恵まりました

祝日ですので行楽に
出かける方も多いのでは
ないでしょうか

この高気圧は
週末まで停滞し…

はあ…もう
お昼かあ…

せつかくの休日なのに
何にもしてないなあ

ギシ…

ずーっと
忙しかったから
一気に疲れが
来ちゃった感じ



起きようかな
二度寝しようかな

別に予定もないし
丸一日ダラダラ
しようかな

明日 疲れた顔して
出社しても、また
セクハラ言われる
だけだしなあ

オイオイなに
へたしてんだあ？

はっ どーせ
休日もナスの野郎と
やりまくってたん
だろお？

帰ると
おつと
ヤッ
Yo!!



まあ 休日だけじゃ
なくてほぼ毎日
してるんだけど...

確かに 自分でも
呆れるくらい彼に
ハマっている



でも顔を合わせて
身体に触れるだけで

いつの間にか
疲れなんか忘れて
クタクタになるまで...



そのかわり
一人になった途端
このザマなんだけど...

ナスくんには
こんな姿 見せられ
ないな...



ナス君も
疲れてるはず…

年上の私がい
たいって 我儘を
言うのはおかしいわね

それに彼 付き合っ前は
私のことを想って毎日
オナニーしてたんだもの

こすって…
キンタマ揉んで…
なんども精液を…

今頃もきつと あの
チンカスくさい熱く
脈打ってるチンポを

らうんご…
射精して…

ああ…ダメ
彼の事 考えない
なんて無理
だってベッタ下でも
部屋でも…

彼のニオイが染み
込んでいるんだもの

ああ…
ナスくうん…♥



ダキョ! ムン
アキョ!
ダキョ!

タン
タン
タン

タン

ダキョ!
ダキョ!
ダキョ!

ダキョ!
ダキョ!

ちゅわ
ちゅわ

ちゅわ
ちゅわ

ちゅわ

は

あ

あ



びしょ...

むせ返る
チンポ臭

びしょ! びしょ! びしょ!

あつ...あああ...
ナスくんのニオイ...
欲しい! ♡

むわ...

ああ 彼の
汗ばんだ胸板

むわ...

びしょびしょ...

引き締まった
お尻の香り...
たまらないっ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

ギシ
ギシ



びしょ...

ああ...ホントは
一日中キントママに
埋もれて過ごしたいっ

あの日 私の脳の
奥まで染めて
しまったニオイ...

キントママのニオイが
一番好き... ♡

でも...蒸れた
キントママが...

びしょ...

びしょ...



びしょ!

びしょ!

びしょ!

ねえ ナスくん...
見てっ
そして...いつもみたいに
スケベなこと言わせて... ♡

見てっ
聞いてっ

びしょびしょ

ああん...ニオイだけで...
こんなにおマンコ
濡れるのっ ♡

ああん
んああ

ああん
んああ

まんこ

まんこ

びしょびしょ!



ナス
八潮課長は？

ちよつと
離席を…

ああ…見られる…
バシチャウ…♡



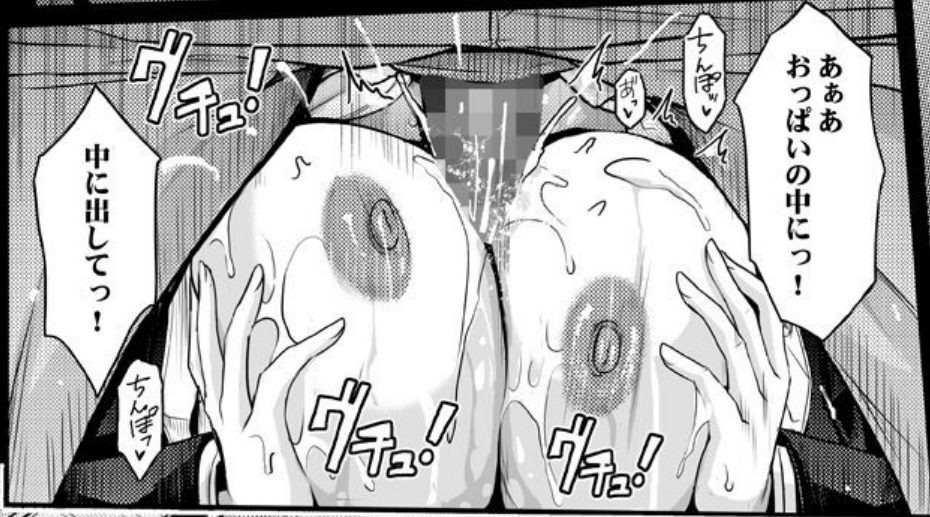
休日にガマンしてたら
今日我慢できなくなつちやつたんですか

んう…んっ
そ ぞうよ…
我慢なんかしたら
…余計欲しくなつちやつた…



もつと もつと…
ナスくんのくさい
ニオイ欲しい…♡
チンポ便器にしてっ♡
明日から…仕事中でも
いいからっ

はあ はあ…
ナスくん…して…



あああ
おっぱいの中につ！

中に出してっ！



会社でおっぱい
チンポ便器にしてっ♡
見て…おっぱい
マンコ…見られたいっ♡

イク♡
イク♡
イク♡

イク♡
イク♡
イク♡



もうどこでも
いいの…
キンタマ
せーえき…♡

びしょ! ♪
あー!!
びしょ!

ぬちゃ♡
ぬちゃ♡



男臭い精液
ぶっかけて…♡

あああ…
イク…♡

イク♡



びしょびしょ
びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ
びしょびしょ



チンポの香りが
あれば愛しい人を
近くに感じられる

そう…セックス
しなくても

だから あの夫婦だって
きつと大文…

はあ…
はあ…

は

は

は



なんだこの間男は！
浮気しやがって
ええええ！

寂しかったのよ！
心の隙間を埋めて
くれる人が欲しかったの！

なにが心の隙間だ！
思いっきり身体の
穴じゃねえか！

ひどい！
セクハラ！
DV！
名誉棄損！
人権侵害！
慰謝料払え！

普段からATM
扱いして結局最後
まで金かよ！

どうせアンタだって
浮気してんでしょ！
何か月もゴミ箱に
何か月の形跡一つないなんて
センスリじゃないの
おかしいじゃないの

ホウ國屋じゃないの！
別の女の身体に被害者とか
こんで偉えうじわよ！
しんじやないわ！
被害者かよ！
しんじやないわ！



ぜ…

金七者

十中師

短小！

…

売女

ギャー！

ギャー！

ギャー！

全然大丈夫
じゃない…

何の…
タイム…



あははは
なるほど

何事かと。

もー

それで
緊急招集ですか



でもね 自分が変わった
ことに戸惑うのは
これが初めてじゃないの
ちよっと…
怖いくらい何度も…

怖い？



でも意外ですね
八潮さんが昼下ろに
影響されるなんて

私も自分に
ビクビクしてる…

…めね…

うう…

ありがとう

あ…

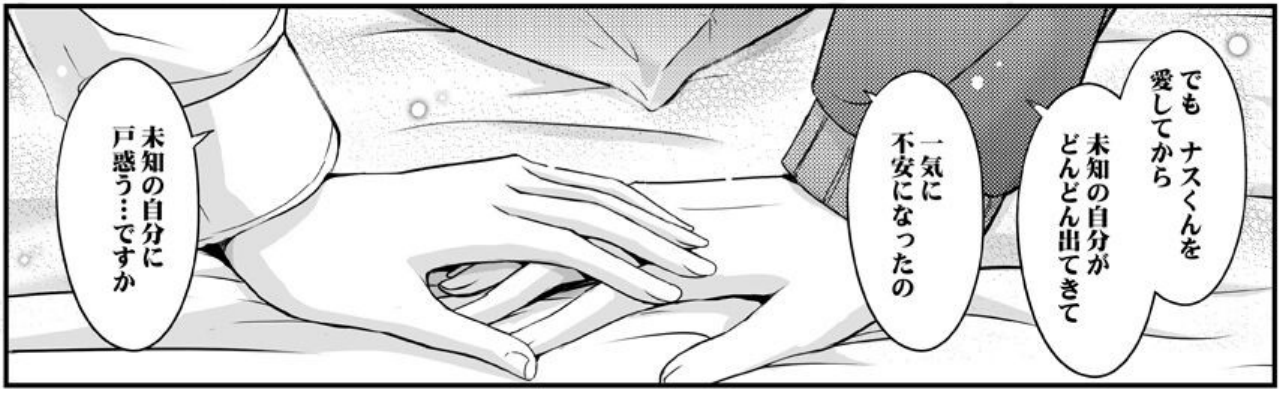
あなたに会いたい ずっと一緒に
世界中であなただけ
心が張り裂け
切なく
ドキト
『みんかむ』
『貴女はさっなのむ』
例えば恋愛ドラマや
ラブソングで語られる
シチュエーションに



以前話したことが
あったでしょう？
私「クールでイヤな
女を目指してた」って



否定はしないけど
感情移人もしない
私は私。
自分に関係無い。
自分だけは絶対
大丈夫。



でもナスくんを
愛してから
未知の自分が
どんどん出てきて
一気に
不安になったの
未知の自分に
戸惑う…ですか



それ危ない宗教とか
詐欺に引っかかる
典型的なパターンじゃ…
ホントそう
なのよね…
『変にまじめな人』こそ
逆にあぶないって聞いた
ことあったけど
まさか自分が
そうだとは…



「私はこういう人間」と
自信を持っていた防壁が
一つ崩されると
「何もかもダメかも」
「他の人がこうなら
もしかして私も…」
って
連鎖的に自信喪失
していく気がして…



でも…
きっと大丈夫ですよ



ドラマを見て
『キンタマ臭があれば
大丈夫なのに』って
独自の価値観を持つてる
一方で

どスケベな露出セックス
願望があっても
実際は気軽にキスしてる
ところすらも見せつけたり
しない

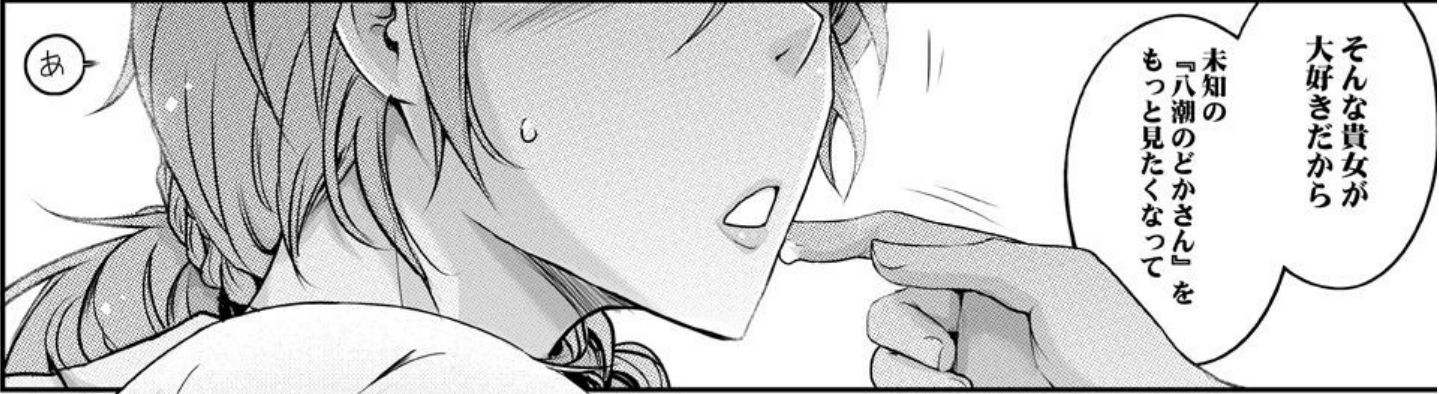


『器が広がっている』
ように見えます



僕には未知の自分
よって「何かを
失っている」というより

むしろ「チンポを
オモチャにしないで」
って叱るくらい
『変にまじめ』な
ところも ちゃんと
残ってる



そんな貴女が
大好きだから
未知の
『八潮のどかさん』を
もっと見たくなって

あ



…ありがとう



つつい変なこと
しちゃうんですけども



……これからも
ずっと……
一緒に
見てくれる？

どんだん
変わっていく私を

ぬん

ぬん

もともとも
変態になっていく私を……



もちろんです

トコ



むわ……

むわ……

八潮さん お待ち
かねの……くっさい
キンタマですよ

ああ……早くう……

むわああ……



その役目 誰にも
譲りませんから

……うん

ぐちゃ……♡

ぐちゃ♡

ぐちゃ♡

いつもよりも
優しい動き…

あああ…
ナスく…ん…っ♡

キンタマの柔らかさ
だけじゃない

身体の重さ お尻の
たくましさ…やっぱり
妄想の彼とは全然違う

むわ

むわ

いつも見ていた
はずなのに

感じていた
はずなのに

ずわわわ

ずわわわ

は♡

はあ…はあ…
くさ…
くさ…のお…っ♡

むわわわ!

は♡

あ♡

は♡

あ♡

あ♡

は♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あっ はああ…っ

んぐ…あああっ

キンタマあ…
きもち…いい…っ♡

むわ

むわ

ビクッ! ビクッ!

ああ…んっ♡

ぎゅららら…っ!

分かっていたつもり
だったからこそ
知らなかった
未知の彼

はあ…
ああ…っ♡

あ♡

ああ…不思議

ドキドキしてるのに…
落ち着いていく

くた…っ

アキッ!

アキッ!

アキッ!

アキッ!

ギシ
ギシ

どわ

どわ

あ♡

あ♡

は♡



とろん...♡

八潮さん
起きてます？

むわ...
うん...♡
すごく...
いいニオイ...



はぁ...
アタマもカラダも
蒸れたチンポの
ニオイでとろけて...
イツちやいそう...♡



はぁ...タメ...まだ...
イキたくないの...♡

でも 今日はまだ
これだけで満足
しちゃいけない

せっかくナスくんが
ご奉仕してくれる
んだもの...

ナスくん...
あの...

はい...

もつと...
後ろのほうも...



キンタマより
濃いとろろも...
顔に...載せて
欲しいの...

お...お尻の穴も...



お願い…

肛門だけは 今まで
言えなかつたところ

近くて遠い
憧れの場所

顔いっぱいにあなたの
ケツ穴を押し付けられて

無理やりキス…
させられたいの…



わかりました

— よろこんで

ぬばあ…

あ



苦しかったら
言ってくださいね

無理やり犯すとはいえ
あくまで今日は僕が
ご奉仕する日ですから

え…ええ…
ゆっくり…顔…
犯して…

ギシ…

トク

トク

トク

トク

トク

は

は

は

トク

トク



はあはあ
はあはあ

ああ…肛門…
ナスくんの肛門…

あ…ああ…
きた…



早く…早く…
舐めさせて…

うおお…
んほ…おおっ!



ああああ
すす…すす…

ん…ん…
ん…ん…
ん…ん…



じゃあ
動きますよ

んほっ!
んほおおっ

んほおおおっ



たまらない…私…
部下の男の子に…

クソ穴に顔面
犯されて…
感じてるっ

ああ…なにこれ
舌が…勝手に…

止まらない
止まらないっ
変態…ハンタイいっ!

私っ
ハンタイ
変態…

んほおおっ

んぶっ!

んっ

見えるっ？
見てっ 見てっ ♡

あなたの肛門…
ウンチ穴をしちびって
おまんこ感じてっ ♡

くああ これ
最高です！

ズンッ！

ハクハク

おまんこ

んおっ
んほおっ ♡

んちゅっ！ んぶっ
んちゅるうっ ♡

くあっ これ…
ハマッたら
ますいですよ
会社でも課長の
顔みただけでクソ穴
なめさせたくなるかも…

会社であなたに
命令されたい… ♡

して…してえっ！
むしろ…しないと
許さないんだから… ♡

課長 今日是一日中
クソ穴なめるんですよ

はい…舐めます…
一日中 ううん…毎日…
マソフタ上司の変態
口まんこにケツ穴
舐めさせて…ください… ♡

く… 八潮さん
もう…っ！

私も イク…
イクっっ！

ズンッ！

ビクッ！

はっ！

はっ！

はっ！

はっ！



ぬはぁ!!

あ...っ...っ...

ふは...あぁっ♡

ふんふん!!

くっ! そのまま 口に...っ!

んあぁぁぁぁ

ビョッ♡
ビョッ♡

ナマの変態精液
便器...最高...っ♡

すごい...私...
本物の肉便器...
ちう妄想オナニー
じゃ全然足りない...

あう...チンポ
ちんぽお...っ♡
ああ...イク...
イクうっ♡

ビョッ!

ビョッ!

ビョッ!

ビョッ!

ビョッ!



八潮さん 今日僕が
ご奉仕しますって
言ったのに

結局 頑張っちゃい
ましたね

あは...
そうね つい

ニオイだけで
もうとまらなく
なっちゃった...♥



身体
大丈夫ですか

うん...

あなたが優しく犯して
くれたから気持ち
よかったし

いつも以上の心遣いに
身体も癒されたわ

八潮さん
を見習ったんですよ

ふふ そんなこと
言うとうるせれるわよ♥



じゃあこのあとも
たっぷり自惚れて
くださいよ

ふふ そうするわ♥



エステに来たつもりで
今日は楽にしておいて
ください

ええでも

疲れならもう
大丈夫だけど...

え？ 本当に私は
寝ただけでいいの？

ギシ...



むしろこういうご奉仕
セックスって以前から
してみたかったんです
いや、ご奉仕と
いうより...マッサージ
セックスかな？

ズリユ

あ...ん...
ま...
マッサージ？



ええ こうして
チンポ入れたまま
指で...

この辺りを
ぐりぐりつ...と

え...っ？
あっ!!

お腹 気持ち
いいですか？

ひああ...
あああ!!

ズリユ

ズリユ



内側と外側から！
完全に受け身だと
案外 新鮮でしょ？

うああ…っ やっ…
グリグリって…
んひゃあああっ！

おまんこ…くたくた
されてるう…ッ

やっ あっ！
んひゃひゃっ

どちゅん！

どちゅん！

どちゅん！



あひっ

おああっ！

こ腰の動きも…
いっせいで…違っ

わちわちっ…

強…く…きしん
責められてるの

さ…愛して…っ

ぎゅわん

ぎゅわん



あっ ああ…

あああ…それ
ききもち…いっ

嘘みたい…こんな巨
ゆったりしてるの

なんで…こんな巨
…甘い…っ？

変わってたんだ

ナスくんも私と
セックスを重ねて

どんどん未知の部分が
増えていたんだ

もっ…と…ああ…
おまんこ…溶かしてっ

どちゅん！

どちゅん！

どちゅん！

ギッ

ガクガク

ギッ



そういえば
野球部時代
時々マッサージして
もらってたんですよ

だらりと寝転がって
完全に受け身で…
あれがすごく
気持ちよくて

はあ…はあ…
野球部時代って…



は
それ…誰にして
もらってたの？

は
ちやちやんとした
整体師の方ですよ
男の
心配なく。

あ
でも こんな素敵な
オッパイした女性に
マッサージされてたら



は
どうなってたか
分からないです
けどね

あつ！
あうんつ！



は
ふふ 私もエステで
こんなエッチな人チンポ
に
マッサージされたら…

は
は
ど…どうにか
なっちゃうかも…？



どうかって…

こんな感じですか？

ひゃうんっ？！

あれびっくり
しました？

するん…よお…

あ…
あ…
あ…

ゆっくりセックス…
するって言ってたのに…
…いきなり…

あはは
すみません

じゃあ…また
小さく小さく

…たまにゴツンと

あ…んっ

あっ…

はあ…っ

こういうリズム…
どうですか？

ど…どうって…

ぐんぐん！

ぐんぐん！

ぐんぐん！



分かってるでしょ……

わわたヒ…
こんな顔してるのよ？
す…好きって言葉
以外…無いって…

フル…
フル…

フル…



くちゅんっ！
ひゃうっ！
こらっ！
せくわっ！



盛間
でしたね♪
ひっ
ああっ♡



言葉以上に
おマンコから
伝わってきてます
あっ！
…いいいい♡



あーっ♡
あああーっ♡
ゆるり
じらしてからの…



あーっ
あひんっ！
ゆるり…
ゆるり…それっ
ちよ…ナスく…
んひいひい♡
リラックス
リラックス♪
ダメですよ
そんなに暴れちゃ…
ねっ！
んほあああっ
あひいひい♡



ぢゃあいきます

一回目

グキョ

グキョ

ちんぽ

ちんぽ...ちんぽ...ちんぽ...♡



あ...あ...何回...するの？

グキョ

グキョ



お願いよっ
出して 出してっ♡
イかせてえっ♡

ちんぽ ちんぽ!

ちんぽ!

ちんぽ!

ギミツツ



八潮さんが『もう疲れた』って言うまでですよ

ズチャッ!

ズチャッ!

ズチャッ!



あなたって...ホントビドイ人

出して...出して♡

それじゃ終わりになんて無いじゃないの...♡

また口に...顔に...
排泄してえ...♡

おとろ

ズル

ズル!!



あああ…
素敵…

んっ!!

キンタマ…
キンタマ…もっど
キンタマせーえぎい

うあ…っ
それ…っ

あ…射精中の
キンタマ
マッサージ

こーいうの
好きなんだ…

臭くて濃い
ナマ精液

お腹の中から
癒されていく…





また一つ
知らなかったこと...

すず...

見つけちゃった

ん...



こういう
セックスも...
いいですね

ええ...好き...
優しくて...
ヒドいの...好きい...

あああ...すごい音
コレ...すごく...
クソ穴セックスって
感じ...♥



アナルセックスで
癒されるなんて...

私 また変態の器が
おんち
拡がっちゃったかな...

あつ あああつ
きて...♥

せーえき流腸...
クソ穴にチンポ
ザーメンっ!

ちんぼ汁
出してええっ♥

くあつ!



あああああーっ♡

ドボッ!!

セクン!

グッ♡

グッ♡



グッ♡

ああっ♡

私たちは
そのまますの回目...

4

5

んああっ!
イクツウっ♡

.....あとは
覚えてない



ああ...もっとな...
もっとな...♡

2回目...
きたあ...♡

グッ♡

ほへ♡



ああ...あああっ♡
わたし...けツアッ...
ちンポ便所お...♡

もちろんです
このままブツ続けます



ただ 最後に
もう一度

ナスくん...

はい?

もう一度…
おしりに…させて…

お尻に…
何をですか？

…だから…
お尻に…キス…

いっぱい汗を
かいて 射精して

さっきより
ずっと臭くなってる
お尻で…

ケツ穴で…顔を
押しつぶして欲しいの

たぶん たぶん

今日一番濃い
あなたのニオイを
胸いっぱい…

たぶん

わかりました

でも 次の体目は
僕にその悦びを
教えてくださいね

え

僕も 八潮さんの
ように器を大きく
したいから

今夜は どんどん
変わっていく貴女に
魅了されっぱなしでした

むわ…

はあ…はあ…

トク…
トク…

ギギ！♡



僕も八潮さんの
工口臭いお尻の穴で
顔面犯されて
イけるようになりたいし

なれる確信が
あじます

ん...っ♡
んちゅる...っ♡

んちゅるっ♡

んちゅるっ♡



ただ一方だけが
変わるだけじゃ
あのドラマの
夫婦と同じですもんね

...うん♡



休日って
本当に大事ね

こんなにも力が
わいてきて
こんなにも心が
潤うんだもの

初めてよ
こんなにも明日が
楽しみな休日は



帰れ。

翌日

Zzzzzzzzz

休日、ゆつくりと二人の時間を――。

ナス君と愛し合い、チンポ肉便器になるまでは、休みの日には友達と外出したり、買い物したり、一人でゆつくりと読書や映画鑑賞、カフェ巡りなんかをしていた。

でも、今は違う。

彼とのハメ撮り動画を見ながら、ずっと極太バイブでおマンコやケツ穴を犯しながら一人マゾブタプレイに浸っている。

「はあ…ああ…チンポ…チンポ欲しい♡
くさいオスチンポ…ドロドロの黄ばんだ
ザーメン中出しされたい…♡」



どんなに太くて大きいバイブでも、やっぱり彼のチンカスまみれのエロチンポの味には遠く及ばない。

身体中にマゾブタ奴隷の証を落書きされた自分の映像に嫉妬してしまう。

「あああ…ナス君…犯してえ…♡
変態セックス動画、もっと撮って
いいから…おマンコもウンコの穴まで
全部さらけ出して、おしっこ漏らして
イクところ…くっさいキンタマ精液
飲んでるところ見て…♡」

「いっそ、呼び出して中出しを懇願してみようか――そんな想いが脳裏をかすめる。」

「いや、そんなのダメ。部下のプライベートルームまで奪うなんて典型的なパワハラ。そんな上司にだけはなりたくない。」

「でも…声を聞くだけなら…電話するだけなら…」

「いつも通り彼の優しい声でスケベな事を『言わさるたい』。私のだらしのないイキ声を聞いてもらって彼にもオナニーして欲しい。」

「それくらいならいいよね？ 一緒に…一緒にオナニーするだけだから…♡」

電話したら、彼はオナニーどころか、すぐに駆けつけてくれた。

私のために、息を切らして汗だくで来てくれて、玄関に入るなり汗とチンカスで粘ついたチンポで犯してくれた。

「こういうこともあろうかと、たっぷりキンタマ汁、溜めてましたから♪」

「あああ…臭い…くっさいい…好き…♡ オスチンポ大好き…愛してるう…♡」

玄関でレイプまがいのセックスをしたあと、ベッドでアナルセックス。肉体のマゾ快樂以上に、私の本当の願いが届いて嬉しかった。

「今日は上司と部下の関係もお休みにしましょう」

ナス君はそう言って私に目隠しをする、顔の上にチンポを乗せた。

「僕を部下の男だと思わず、ただのチンポだと思って命令して下さい」

「え…?」

姿を見てしまえば、どうしても人間として接してしまう。だから名前を呼ぶのも禁止。彼は今、私の性欲に慮えてくれる忠実なチンポ。

「あああ…チンポ…チンポさまあ…♡ 好き…愛してます…♡お願いです、この変態マンコ女に、くっさいザーメンを排泄してください…私の汚いウンコ穴を犯してくださいおチンポ様にベロチュウ奉仕させてください…♡」

「ああ…今日も…全部ハメ撮りして下さい…♡ おチンポさまあ…♡」

この目を境に、私の休日は愛するおチンポ様への肉便所奉仕をたっぷり満喫できる大切な日となった。

「ああ…今日も…全部ハメ撮りして下さい…♡ おチンポさまあ…♡」







本日は全国的に
好天に恵まりました

祝日ですので行楽に
出かける方も多いのでは
ないでしょうか

この高気圧は
週末まで停滞し…

はあ…もう
お昼かあ…

せつかくの休日なのに
何にもしてないなあ

ギシ…

ずーっと
忙しかったから

一気に疲れが
来ちゃった感じ



起きようかな
二度寝しようかな

別に予定もないし
丸一日ダラダラ
しようかな

明日 疲れた顔して
出社しても、また
セクハラ言われる
だけだしなあ

オイオイなに
へたしてんだあ？

はっ どーせ
休日もナスの野郎と
やりまくってたん
だろお？

帰ると
おつと
ヤッ
Yo!!



まあ 休日だけじゃ
なくてほぼ毎日
してるんだけど...

確かに 自分でも
呆れるくらい彼に
ハマっている



でも顔を合わせて
身体に触れるだけで

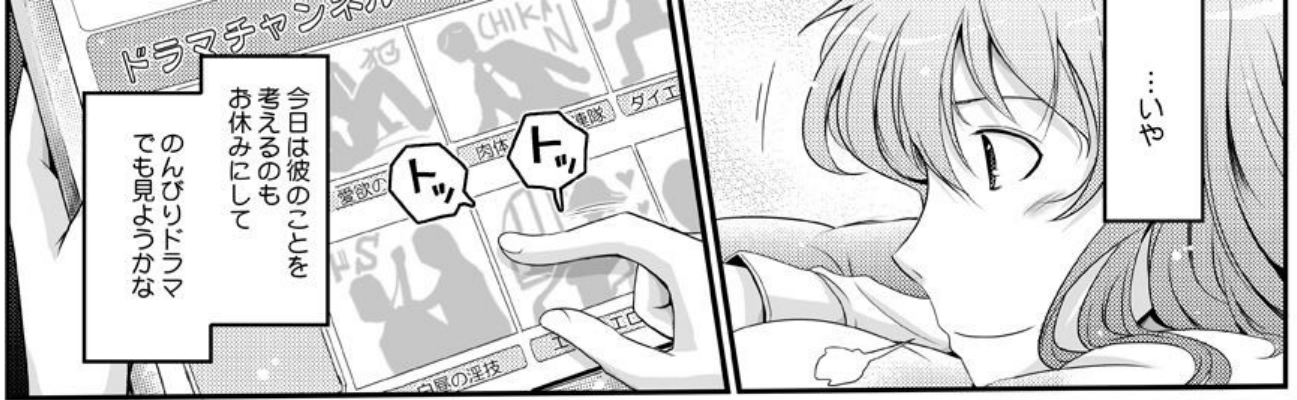
いつの間にか
疲れなんか忘れて
クタクタになるまで...



そのかわり
一人になった途端
このザマなんだけど...

ナスくんには
こんな姿 見せられ
ないな...





ナス君も
疲れてるはず…

年上の私がい
たいって 我儘を
言うのはおかしいわね

それに彼 付き合っ前は
私のことを想って毎日
オナニーしてたんだもの

ダクダク!

タン

タン

タン

ダクダク!

ダクダク!

今頃もきつと あの
チンカスくさい熱く
脈打ってるチンポを

こすって…
キンタマ揉んで…
なんども精液を…

ダクダク!

らうらう…
射精して…

ちゅわ
ちゅわ

ああ…ダメ
彼の事 考えない
なんて無理
だってベッタ下でも
部屋でも…

彼のニオイが染み
込んでいるんだもの

ちゅわ

ちゅわ
ちゅわ

ああ…
ナスくうん…

は
あ

あ

ちゅわ



びしょ...

むせ返る
チンポ臭

びしょ! びしょ! びしょ!

あつ...あああ...っ
ナスくんのニオイ...
欲しい...っ♡

むわ...

ああ 彼の
汗ばんだ胸板

むわ...

びしょ...

引き締まった
お尻の香り...
たまらないっ

びしょ♡

びしょ♡

びしょ♡

ギシ
ギシ



びしょ...

ああ...ホントは
一日中キンタマに
埋もれて過ごしたいっ

あの日 私の中の
奥まで染めて
しまったニオイ...

キンタマのニオイが
一番好き...っ♡

でも...蒸れた
キンタマが...

びしょ...

びしょ...



びしょ!

びしょ! びしょ!

ねえ ナスくん...
見てっ

そして...いつもみたいに
スケベなこと言わせて...っ♡

びしょ♡

ああん...ニオイだけで...
こんなにおマンコ
濡れるのっ♡

見てっ

びしょ!

まんこ♡

まんこ♡

ああん♡

ああん♡

もっこもっこ…
ナスくんのくさい
ニオイ欲しい…♡

チンポ便器にしてっ♡
明日から…仕事中でも
いいからっ

はあはあ…
ナスくん…して…

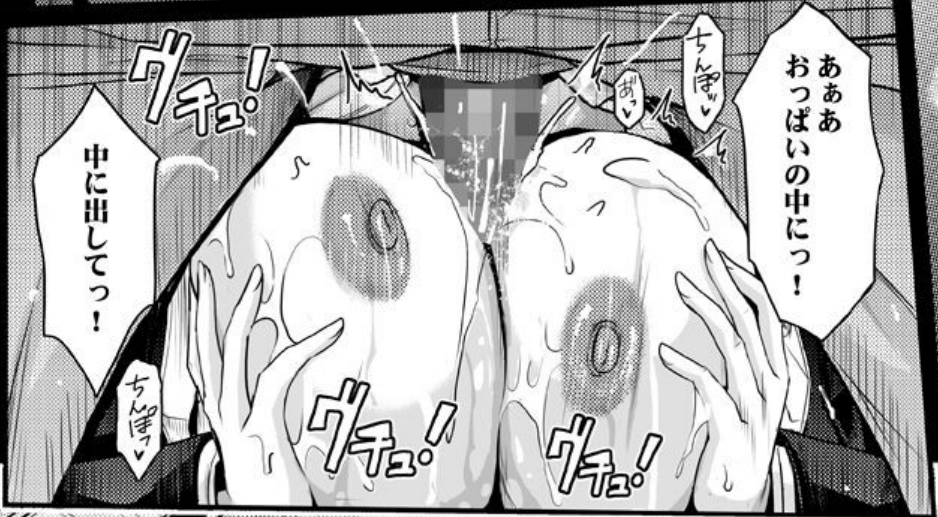
休日にガマンしてたら
今日我慢できなく
なっちゃったんですか

んう…んっ
そ、そうよ…
我慢なんかしたら
…余計欲しくなっ
ちゃった…

ナス
八潮課長は？

ちよつと
離席を…

ああ…見られる…
バシチャウ…♡





もうどこでも
いいの…
キンタマ
せーえき…♥

ぬちゅ♥
ぬちゅ♥

犯して♥
犯して♥



男臭い精液
ぶっかけて…♥

あああ…
イク…♥

イクっ♥
おっ



イクッ!

ぬちゅ♥
ぬちゅ♥

ビュッ
クッ
ウッ!



そう…セックス
しなくて
チンポの香りが
あれば愛しい人を
近くに感じられる

だから あの夫婦だって
きつと大丈…

はあ…
はあ…

は

は



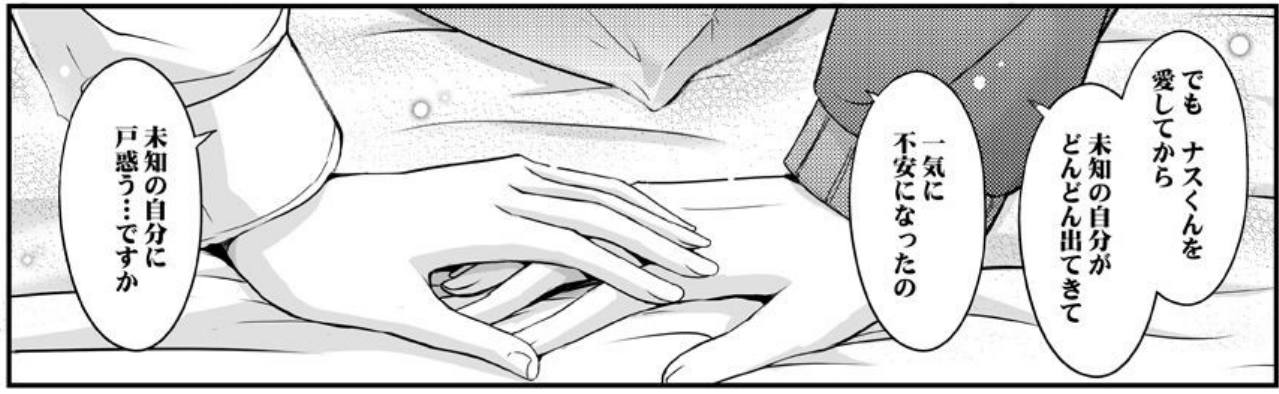
あなたに会いたい ずっと一緒に
世界中であなただけ
心が張り裂け
切なく
ドキト
『みんぶん』
『貴女はさっしなのね』
例えば恋愛ドラマや
ラブソングで語られる
シチュエーションに
って『他人事』に
感じてしまう性格
だったの



以前話したことが
あったでしょう？
私『クールでイヤな
女を目指してた』って



否定はしないけど
感情移人もしない
私は私。
自分は無関係。
自分だけは絶対
大丈夫。



でもナスくんを
愛してから
未知の自分が
どんどん出てきて
一気に
不安になったの
未知の自分に
戸惑う…ですか



それ危ない宗教とか
詐欺に引っかかる
典型的なパターンじゃ…
ホントそう
なのよね…
『変にまじめな人』こそ
逆にあぶないって聞いた
ことあったけど
まさか自分が
そうだとはい…



『私はこういう人間』と
自信を持っていた防壁が
一つ崩されると
『何もかもダメかも』
『他の人がこうなら
もしかして私も…』
って
連鎖的に自信喪失
していく気がして…



でも
きっと大丈夫ですよ

ドラマを見て
『キンタマ臭があれば
大丈夫なのに』って
独自の価値観を持つてる
一方で

どスケベな露出セックス
願望があっても
実際は気軽にキスしてる
ところすらも見せつけたり
しない

むしろ「チンポを
オモチャにしないで」
って叱るくらい

『変にまじめ』な
ところも ちゃんと
残ってる

僕には未知の自分に
よって「何かを
失っている」というより

『器が垢がついている』
ように見えます

そんな貴女が
大好きだから

未知の
『八潮のどかさん』を
もっと見たくなって

あ

つつい変なこと
しちゃうんですけども

…ありがとう

7ス♡



……これからも
ずっと…
一緒に
見てくれる？

どんどん
変わっていく私を

ぬん

ぐにゅ



もちろんです



もっともっと
変態になっていく私を…



むわ…
八潮さん お待ち
かねの…くっさい
キンタマですよ

ああ…早くう…

むわああ…



その役目 誰にも
譲りませんから

……うん



あ…ま 待って

は♡

は♡



じゃあ このまま 降ろしますよ

ギシ…ッ

あ♡

は♡

は♡



おわ…

おわ…

おわ…

先にチンカスフェラ ……しなくていいの？ ナスくん あれ好きでしょ？



僕のことは 大丈夫です 今日休んで ください



おわ…

おわ…

あ…ああ…あっ♡

おあ…♡

普段のセックスでも 八潮さんは自分が 思っている以上に

僕に気を使って くれてるんですよ？

はあ…♡



おわ…

おわ…

おわ…

その気持ちから いつもは 甘えていましたけど

今日は僕にご奉仕 させてください

んっ んう…んっ♡

おわ…

おわ…

おわ…

おわ…

いつもよりも
優しい動き...

あああ...
ナスく...ん...っ♡

あっ はああ...っ

んぐ...あああっ

キンタマあ...
きもち...いら...っ♡

キンタマの柔らかさを
だけじゃない

身体の重さ お尻の
たくましさ...やっぱじ
オナニー
妄想の彼とは全然違う

むわ

むわ

いつも見ていた
はずなのに

感じていた
はずなのに

ああ...んっ♡

分かってはいたつもり
だったからこそ

知らなかった
未知の彼

はあ...
ああ...っ♡

ああ...不思議

下キ下キしてるのに...
落ち着いていく

はあ...はあ...
くさくさ...
くさくさのお...っ♡

むわ!
むわ!

くた...っ





とろん...♡

むわ...
うん...♡
すごく...
いいニオイ...

は
八潮さん
起きてます？



はぁ
アタマもカラダも
蒸れたチンポの
ニオイでとろけて...
イツちやいそう...♡



はぁ
イツてもいいですよ

はぁ...タメ...まだ...
イキたくないの...♡

でも 今日はまだ
これだけで満足
しちゃいけない

せっかくナスくんが
ご奉仕してくれる
んだもの...

はぁ
ナスくん...
あの...

はぁ
はい...

はぁ
もつと...
後ろのほうも...



はぁ
お...お尻の穴も...

はぁ
キンタマより
濃いとろろも...

はぁ
顔に...載せて
欲しいの...



お願い…

そこ
肛門だけは 今まで
言えなかつたところ

近くて遠い
憧れの場所

顔いっぱいにあなたの
ケツ穴を押し付けられて

無理やりキス…
させられたいの…♥



わかりました

—よろこんで

ぬばあ…?



苦しかったら
言ってくださいね

無理やり犯すとはいえ
あくまで今日は僕が
ご奉仕する日ですから

え…ええ…

ゆっくり…顔…
犯して…

むわ

むわ

ギシ…

は

は

は

トク

トク

トク

トク

トク

は

は

は



ああああ
すすすす…
く…奥へ…
いざらしいニオイ…

うおお…
んほ…おおっ!



早く…早く…
舐めさせて…

あ…ああ…
きた…



ああ…肛門…
ナスくんの肛門…

はあはあ
はあはあ…



じゃあ
動きますよ

んほっ!
んほおおおっ

んほおおおっ



たまらない…私…
部下の男の子に…

クソ穴に顔面
犯されて…
感じてるうっ

んほおおっ

ああ なにこれ
舌が…勝手に…

止まらない
止まらないっ
変態…ハンタイいっ!

私っ
ハンタイ
変態…

見えるっ？
見てっ 見てっ ♡

あなたの肛門…
ウンチ穴をしゃぶって
おまんこ感じてみるっ ♡

くああ これ
最高です！

ズンッ！
ズンッ！

ガク
ガク

ズンッ
ズンッ

んおっ
んほおっ ♡

んちゅっ！ んぶっ
んちゅるうっ ♡

くあっ これ…
ハマったら
まずいですよ
会社でも課長の
顔みただけでクソ穴
なめさせたくなるかも…

ズンッ
ズンッ

して…してえっ！
おしろ…しないと
許さないんだから… ♡

会社であなたに
命令されたい… ♡

ズンッ

ビク！
ビク！
ビク！

く… 八潮さん
もう…っ！

ズンッ
ズンッ

課長 今日是一日中
クソ穴なめるんですよ

はい…舐めます…
一日中 ううん…毎日…
マソフタ上司の変態
口マンコにケツ穴
舐めさせて…ください… ♡

私も イク…
イクううっ！

ズンッ
ズンッ

ズンッ
ズンッ



あぁ……っ

ぬはぁ!!

ふは……あぁっ♡



くっ! そのまま 口に……っ!

ふはっ!!



んああああああ

ビョッ♡
ビョッ♡



ああ……イク…
イクうっ♡

すごい…私…
本物の肉便器…
もう妄想オナニー
じゃ全然足りない…

ナマの変態精液
便器…最高…っ♡

ビョッ!

ビョッ!

ビョッ!



八潮さん 今日僕が
ご奉仕しますって
言ったのに

結局 頑張っちゃい
ましたね

あは...
そうね つい

ニオイだけで
もうとまらなく
なっちゃった...♡



身体
大丈夫ですか

うん...

あなたが優しく犯して
くれたから気持ち
よかったです

いつも以上の心遣いに
身体も癒されたわ

八潮さん
を見習ったんですよ

ふふ そんなこと
言うとうるせれるわよ♡



じゃあこのあとも
たっぷり自惚れて
ください♡

ふふ そうするわ♡



エステに来たつもりで
今日は楽にしておいて
ください

ええでも

疲れならもう
大丈夫だけど...

え？ 本当に私は
寝るだけでいいの？

ギシ...



むしろこういうご奉仕
セックスって以前から
してみたかったんです
いや、ご奉仕と
いうより...マッサージ
セックスかな？

あ..ん...
ま...
マッサージ？

ズリユ



ええ、こうして
チンポ入れたまま
指で...

この辺りを
ぐりぐりつ...と

え...っ？
あつ!?

お腹気持ち
いいですか？

ひああ...
あああつ!!



内側と外側から…
完全に受け身だと
案外 新鮮でしょ?

うああ…っ やっ…
グリグリ…っ…
んひゃああっ!

おまんこ…くぐぐと
されてるう…ッ♡

やっ あっ!
んひゃああっ♡

とちゅん!
とちゅん!



強…く…
責められるの
が…嬉しい…♡

じ…じ…
ねちねち…
…

こ…腰の動きも…
い…じ…と…違…っ

あひっ♡
おあっ!

ぎゅん
ぎゅん



あっ ああ…♡
あああ…それ
ききもち…いっ♡

嘘みたい…こんなに
ゆったりしてるのに
…なんで…こんなに
…甘い…の…っ??

変わってたんだ
ナスくんも私と
セックスを重ねて
どんどん未知の部分が
増えていったんだ

もっ…と…ああ…
おまんこ…溶かしてっ♡

とちゅん!
とちゅん!
とちゅん!

ギシ
ギシ



そういうば
野球部時代
時々マッサージして
もらってたんですよ

だらっつと寝転がって
完全に受け身で…
あれがすごく
気持ちよくて

はあ…はあ…
野球部時代って…



は
それ…誰にして
もらってたの？

は
ちやちやんとした
整体師の方ですよ
男の
心配なく。

あゝ
でも こんな素敵な
オッパイした女性に
マッサージされてたら



ははは
どうなってたか
分からないです
けどね！

あうんっ！
あうんっ！



ははは
ふふ 私もエステで
こんなエッチな人
に
マッサージされたら…

ははは
ど…どうにか
なっちゃうかも…？



どうかって…

こんな感じですか？

ヒヤウン!!



あれびっくりしました？

するん…よお…

あ…
グッ…グッ…

ゆっくりセックス…
するって言ったのに…
いきなり…

アハハ

あはは
すみません



じゃあ…また
小さく小さく

…たまにゴツンと

あ…んっ

あっ…

はあ…っ

こういうリズム…
どうですか？

ど…どうって…

グッ
グッ

グッ!

グッ!

グッ!



じゃあイキます

もっもっ...もっもっ...もっもっ...♡

一回目



あ...あ...何回...するの?



お願いよっ
出して 出してっ♡
イかせてえっ♡



八潮さんが『もう疲れた』って言うまでですよ



あなたって...
ホントヒドイ人

出してっ...出してっ♡

また口に...顔に...
排泄してえ...♡

それじゃ終わらなくて
無いじゃないの...♡



あああ…
素敵…

んっ!!

キンタマ…
キンタマ…もっど
キンタマせーえぎい

うあ…っ
それ…っ

あ…射精中の
キンタマ
マッサージ

こーいうの
好きなんだ…

臭くて濃い
ナマ精液

お腹の中から
癒されていく…





また一つ
知らなかったこと...

ずん...

ん...

見つけちゃった

は



こういう
セックスも...
いいですね

ええ...好き...
優しくて...
ヒドいの...好きい...

あああ...すごい音
コレ...すごく...
クソ穴セックスって
感じ!♥



アナルセックスで
癒されるなんて...

私 また変態の器が
おんな
拡がっちゃったかな...

あつ あああつ
きて...つ♥

せーえき流腸:
クソ穴にチンポ
ザーメンっ!

ちんぼ汁
出してええっ♥

くあつ!



もう一度…
おしりに…させて…

お尻に…
何をですか？

…だから…
お尻に…キス…

いっぱい汗を
かいて 射精して

さっきより
ずっと臭くなってる
お尻で…

ケツ穴で…顔を
押しつぶして欲しいの

たぶん たぶん

今日一番濃い
あなたのニオイを
胸いっぱい…

たぶん

わかりました

でも 次の体日は
僕にその悦びを
教えてくださいね

え

僕も 八潮さんの
ように器を大きく
したいから

今夜は どんどん
変わっていく貴女に
魅了されっぱなしでした

むわ…

はあ…はあ…

トク…
トク…

ギギ！♡



「いっせ、呼び出して中出しを懇願してみようか——そんな想いが脳裏をかすめる。」

「いや、そんなのダメ。部下のプライベートルームまで奪うなんて典型的なパワハラ。そんな上司にだけはなりたくない。」

「でも…声を聞くだけなら…電話するだけなら…」

「いつも通り彼の優しい声でスケベな事を『言わさるたい』。私のだらしのないイキ声を聞いてもらって彼にもオナニーして欲しい。」

「それくらいならいいよね？ 一緒に…一緒にオナニーするだけだから…」

「休日、ゆつくりと二人の時間を——。」

「ナス君と愛し合い、チンポ肉便器になるまでは、休みの日には友達と外出したり、買い物したり、一人でゆつくりと読書や映画鑑賞、カフェ巡りなんかをしていた。」

「でも、今は違う。彼とのハメ撮り動画を見ながら、ずっと極太バイブでおマンコやケツ穴を犯しながら一人マゾブタプレイに浸っている。」

「はあ…ああ…チンポ…チンポ欲しい♡
くさいオスチンポ…ドロドロの黄ばんだ
ザーメン中出しされたい…♡」

「どんなに太くて大きいバイブでも、やっぱ彼のチンカスまみれのエロチンポの味には遠く及ばない。」

「身体中にマゾブタ奴隷の証を落書きされた自分の映像に嫉妬してしまう。」

「あああ…ナス君…犯してえ…♡
変態セックス動画、もって撮って
いいから…おマンコもウンコの穴まで
全部さらけ出して、おしっこ漏らして
イクところ…くっさいキンタマ精液
飲んでるところ見て…♡」



電話したら、彼はオナニーどころか、すぐに駆けつけてくれた。

私のために、息を切らして汗だくで来てくれて、玄関に入るなり汗とチンカスで粘ついたチンポで犯してくれた。

「こういうこともあろうかと、たっぷりキントマ汁、溜めてましたから♪」

「あああ…臭い…くっさいい…好き…♡ オスチンポ大好き…愛してるう…♡」

玄関でレイプまがいのセックスをしたあと、ベッドでアナルセックス。肉体のマゾ快樂以上に、私の本当の願いが届いて嬉しかった。

「今日は上司と部下の関係もお休みにしましょう」

ナス君はそう言って私に目隠しをする、顔の上にチンポを乗せた。

「僕を部下の男だと思わず、ただのチンポだと思って命令して下さい」

「え…?」

姿を見てしまえば、どうしても人間として接してしまう。だから名前を呼ぶのも禁止。彼は今、私の性欲に慮えてくれる忠実なチンポ。

「ただ私は、そのチンポを下僕扱いできなかった。むしろ、普段の彼には言えない言葉で懇願していた。」

「あああ…チンポ…チンポさまあ…♡ 好き…愛してます…♡お願いです、この変態マンコ女に、くっさいザーメンを排泄してください…私の汚いウンコ穴を犯してくださいおチンポ様にベロチュウ奉仕させてください…♡」

視界がないことで、いやらしいニオイがより濃く感じられる。脳が白濁し勝手に奴隷屈服宣言をしてしまう。

「ああ…今日も…全部ハメ撮りして下さい…♡ おチンポさまあ…♡」

この目を境に、私の休日は愛するおチンポ様への肉便所奉仕をたっぷり満喫できる大切な日となった。